

宇都宮市立陽南中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」に「はい」と回答した生徒は、県の平均より、2.1ポイント上回っている。

○「勉強していて、不思議だな、なぜだろうと感ずることがある」に「はい」と回答した生徒は、県の平均より6.2ポイント上回っている。

○「学習して身に付けたことは、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」に「はい」と回答した生徒は、73.5ポイントで、県の平均を15.5ポイント上回っている。

この結果から、学習に対する興味・関心や教科の有用性は十分に感じていると思われる。今後も、興味・関心が高まるような授業展開を工夫し、学習意欲につなげたい。

○「先生は学習のことについてほめてくれる」で「はい」と回答した生徒は37.6ポイントで、県の平均より4.7ポイント上回っており、「授業でわからないことがあると、先生に聞くことができる」についても、県の平均より2.3ポイント上回っている。

この結果から、生徒と教師の関係は良好で、分からないところがあればすぐに質問できる関係であることが伺える。

○「自分のよさを人のために生かしたいと思う」に「はい」と回答した生徒は、61.6ポイントで、県の平均より8.3ポイント上回っており、「将来の夢や目標をもっている」の肯定的回答も79.2ポイントと非常に高い。

本校の特色である地域のボランティア活動が生徒の意識にも良い影響を与えていると思われる。

●「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」に肯定的な回答は、55.9ポイントで、県の平均より10.1ポイント下回っている。

●「家で、学校の授業の復習をしている」に肯定的な回答は、57.2ポイントで、県の平均より17.9ポイント下回っている。

●「家で勉強するときに、だいたい同じ時刻に取り組むようにしている」に肯定的な回答は、55.9ポイントで、県の平均より9.4ポイント下回っている。

この結果から、家庭学習がかなり不足していて、自主的に取り組むことができている生徒が少ないことがわかる。家庭学習の習慣化と、生徒の意識の変革のために、月曜日の朝は、家庭学習の記録の記入と振り返りの時間を全校体制でとり、生徒の意識付けを図る。また、保護者会や学校からのたよりなどを通して、家庭での協力を依頼する。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・家庭学習の習慣化	・「家庭学習の手引き」を活用する。 ・スタンダードダイアリーを活用して毎日の学習を記録し、月曜日に「家庭学習の記録」に記入することで、1週間の振り返りをさせ、生徒の自覚を促す。	・「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」に肯定的な回答は、61.6ポイントで、県の平均より2ポイント上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・国語、数学、理科、英語において、各領域の正答率が、県の平均を下回っている。	・基礎・基本の定着	・基本的な学習内容の定着のために、小テストなどをこまめに行い、理解が不十分な生徒には繰り返し補充指導を行い、小単元ごとの定着を図る。 ・教員間相互の授業参観をし、授業力向上を図る。